

平成 25 年度 妙高高原南小学校グランドデザイン

児童の実態



○学校行事に進んで参加し、互いのよさを認め合っている。○進んで自分の役割を果たそうとする。△現状から、さらに自分を変えようとする意識はまだ低い。○主体的に学ぶ姿勢が身に付いてきた。△宿題+自主勉強に取り組む子は、まだ少ない。○体力、運動能力の高い子が育っている。○メディアコントロールが身に付いている。



教職員の願い

◎子どもにとって学校が「希望」となるように
◇力を引き出してやりたい、伸ばしてやりたい
◇勇気を与えたい、やる気を出させたい
◇思いやりの心、豊かな人間関係を育て、いじめのない学校にしたい
＜そのために＞
◆謙虚に子どもと向き合い、親切に対応する
◆仲間関係の「綾」を見取る
◆スキーを大切に、各種活動に地域の教育力を積極的に活用する



◆◆◆学校はおもしろい！楽しい！
休みたくない！！◆◆◆

教育目標

○進んで学ぶ子○思いやりのある子○最後までやりぬく子

重点目標

チャンス・チャレンジ・チェンジ



保護者・地域の願い

- ・基礎となる学力を確実に身に付けてほしい
- ・思いやりの心を持ち、心豊かになってほしい
- ・心身ともに健康に育ってほしい
- ・自分の住んでいる地域をもっと知ってほしい
- ・安全、安心な学校であってほしい
- ・スキーに関心を持ち、好きになってほしい



学び続ける子

■取組■

I 授業改善

- ・「学びが分かるノート」作りを目指し、児童の学びをつなぐ授業改善に取り組む。
- ・じっくりと話し合う場や自分の考えを説明する場を大切にしたい授業を充実させる。

II 個別指導の充実

- ・「学びの広場」や「チャレンジタイム」を継続し、充実させる。
- ・県の Web 配信テストや市の単元テストを個別指導に生かす。

III 家庭との連携

- ・家庭学習ノートの活用方法を家庭に知らせ、有効活用を図る。
- ・学校の学習が、常に家庭内の話題となるように、学級だよりや家庭学習課題を工夫する。

正義を貫く子

■取組■

I 授業改善

- ・日常生活における人権感覚や道徳的実践力を培う授業を充実させる。
- ・人権教育、同和教育の職員研修を充実させる。

II 振り返りの場の工夫

- ・いじめを見逃さない学校づくりを目指し、児童が主体的に行動する場を設定する。
- ・自分の特徴や成長、考えの変化を振り返る方法を工夫する。

III 全校体制での生活指導

- ・定期的な児童の情報交換による職員の共通理解の徹底を図る。
- ・学級経営についての研修会を充実させる。(Q-U・対策検討会)
- ・外部機関や専門家と連携し、校内支援委員会を充実させる。

己を磨く子

■取組■

I 授業改善

- ・体力テストの課題解決のための取組を授業に位置付ける。

II 業間・課外体育

- ・目標をもち意欲的に取り組める業間体育を実施する。(マラソン大会・縄跳びフェスティバル)
- ・全員参加の課外体育で体力と技術の向上を目指す。(ミニバス・陸上・スキー)

III メディアコントロール

- ・家庭と連携した「すこやか週間」を年2回実施する。
- ・家庭学習ノート等を活用して、メディアコントロールに取り組む。
- ・親子でメディアコントロールを学ぶ機会を設定する。

基盤となる教育活動

◆言語力を高める指導の充実◆読書活動の充実◆T T 体制による学習指導の実施◆特別支援教育の充実◆キャリア教育の充実◆外国語活動の充実◆情報教育の充実◆地域教材や人材の開発◆学習ボランティアの活用◆体験活動の充実◆老人福祉施設との交流◆「子どもを語る会」での児童理解◆体力テストの実施◆保健学習の充実◆食育の充実◆運動環境の整備◆運動遊び時間の確保◆清掃活動の充実◆園・小中学校の連携◆学校安全管理の



開かれた学校、信頼される学校、地域・家庭とともに子どもを育てる学校